

いつまでも健康な体でどこまでも

けんしょうかい

健翔会だより

120 号

2024・4月1日

発行所

香川県坂出市川津町

(〒762-0025) 3329-14

医療法人社団 健翔会

堀口医院

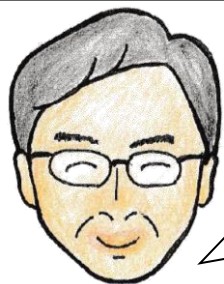
TEL 0877-45-8686

◎本紙に関するご意見、ご質問がありましたら
お気軽にどうぞ！

<担当>高橋, 青北

TEL 0877-45-8686 FAX 0877-45-8883

HP <http://www.horiguchi-hp.jp>



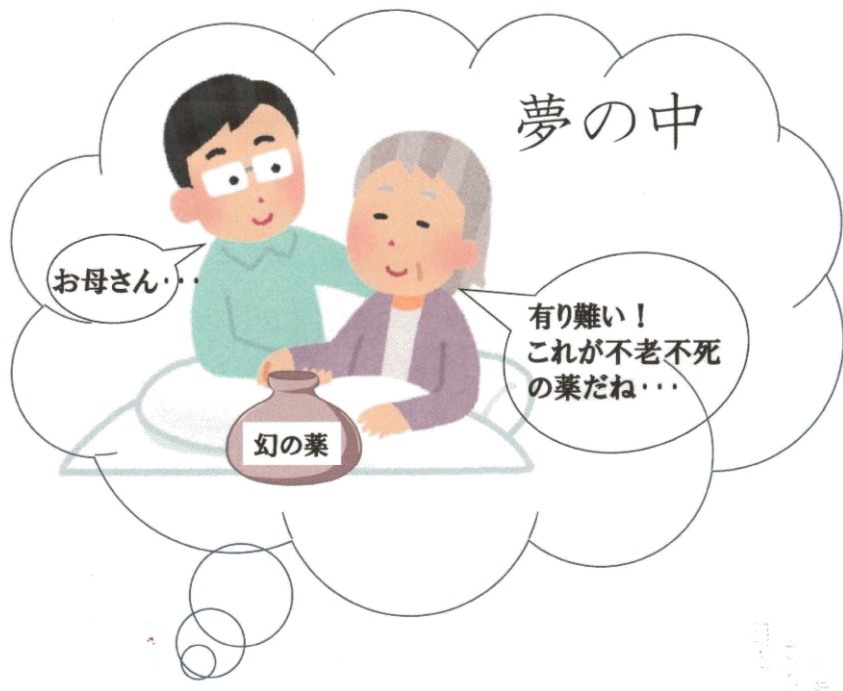
堀口 裕 先生

最期まで健康で過ごすために健康を貯金して下さい。
健康貯金の様子は、自己防御力診断で判ります。
1年に1回を目安に受けて下さい。



病氣にならないコツは何か

私は“最期まで健康で過ごそう！”をスローガンに、日々診療を続けています。世の中に不老不死の妙薬など存在しません。いつかは必ずおむかえがきます。それならば、せめても健康のままで人生を楽しみたいと思います。それには大病にならないコツを知っておかなければなりません。それは至って簡単なことです。大病を防ぐ力を持てばよいのです。膠原病という病態の一つに慢性関節リウマチがありますが、多くの場合中高年になって発症しています。遺伝的に病気のなりやすさを持って生まれたにせよ、若いころは何故発症例が少ないのでしょうか？あるいはガンや脳卒中も、またパーキンソン病もそうです。何故生まれて間もなくの発症例が少ないのでしょうか？30年余り診療して思ったのですが、もし大病を防ぐための努力を日々続けていたなら、発症を遅らせたり、あるいは発症しないままで過ごせるのではないかと考えています。

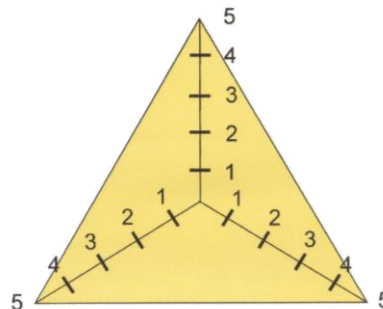


健康で過ごすための力とは何か

発症した何らかの大病を観察しますと、免疫機能の不調があります。また炎症を伴っている場合があります。さらに、例えば肝炎のときASTやALT、以前ではGOTやGPTと呼ばれていた数値が上昇します。これらは肝臓の細胞から出てきた物質(逸脱酵素)ですが、肝臓の細胞が壊れていることを意味します。そうなのです。究極病気になる場所は細胞なのです。細胞の老化は仕方ありません。でも細胞を元気なまま維持できるなら、病気はでません。結論ですが大病を防ぐ力とは、細胞が元気であること、免疫機能が維持できていること、炎症体質がないこと、この3つをいいます。これを自己防御力と呼んでいます。自己防御力が盤石なら、私たちは健康で過ごすことができます。

自己防御力診断

①細胞の新陳代謝度



②免疫バランス度

③炎症の鎮静度

一般の検査と自己防御力診断の違いは何か

一般的にどこの医療機関でも行われている検査は、必ず必要です。その上で、自己防御力との違いをまとめておきます。一般的検査は、その検査日に病気、または異常所見があったかどうかを調べています。たとえその日に全く異常がなかったとしても、健康であることを保証しているわけではありません。もしかしたら検査翌日に狭心症や脳卒中を発症するかも知れません。一方、自己防御力診断は、個々の病気を調べる検査ではありません。大病を発症しないための力を持っているかどうかを調べます。当然ですが、どちらの検査も必要です。

	一般の検査	自己防御力診断
特 徴	病気や異常所見が みつかる	病気の有無はわ からない
	健康状態は判断で きない	健康状態がわかる

すでに病気があるとき、治療の目標は何か

すでに病気になっている場合ですが、病気を治す目標は必ず自己防御力の回復でなければなりません。なぜなら、大病を防ぐ力がないために大病を発症したのですから、もう一度大病を防ぐ力を回復するより治る道はありません。よくガン患者さんの治療で耳にすることですが、腫瘍を抑制することに専念しすぎ、気が付いたときは患者さん自身に自己防御力が残っていない場合があります。腫瘍があるのですから抑えようとするのは当然ですが、そうかといって、患者さん自身に健康になろうとする力が残っていないなら、治ることはあり得ないです。人生は一度きりです。素敵な人生になるように、つねに自己防御力の回復に努力して下さい。

第十八回「けんしょうかい川柳」入選作品

大賞 作者 渡邊美千代様 兵庫県在住

『付きそいの

主人が電子の

もうとりこ』

作者解説

私の付き添いに来てくれていた主人が、先生の説明を聞いて
高血圧にも電子をあてて下さいと言って頂き、今では主人の
方がきちんと当てています。

院長コメント

人生で最も大事なことは、できる限り健康で過ごすこと
です。それには毎日、電子を与えることです。

院長賞

作者 みいのすけ様 香川県在住

『お出かけは

カギとスマホと

エムエスデイ』(MSD)

作者解説

近々、高齢の母と旅行を予定しているのですが、コンパクトで
持ち運びしやすい治療器(MSD)ができたので、旅先で母と
一緒に使えるのが嬉しいです。母は先生と治療器の大ファン
です。

院長コメント

私も遠くへ出かける際、必ずエムエスデイを持参し、行った
先々で治療しています。

次回のご応募締め切り日は五月十五日です。
健翔会だより一二二号は六月一日発行分に掲載致し
ます。沢山のご応募お待ちしております。

けんしょうかい川柳 選考委員会

健康講演会のご案内

特別講演

今回は、長年外科医として特にがん患者さまを救命し、また患者
さまの心に寄り添ったケアにも熱心に取り組まれ、多くの患者さ
まを支えてこられました「ハズしまぶくろクリニック 院長 島袋
隆 先生」お迎えしての特別講演です。

医療現場から分かった、“ワクワクする治療とは？”を実践されて
おります。多くの方が非常に興味を持たれる内容と思います。

是非、皆様のご参加をお待ち致しております。

日 時：2024年6月30日(日)
13:00～15:00 (質疑応答の時間を含む)

※12:15から受付開始

場 所：当院 1F 理学療法室

講 師：ハズしまぶくろクリニック院長

医学博士 島袋 隆 先生

座長 堀口医院 院長 堀口 裕

参加対象：一般の方(医療にかかわる方でもご参加できます)

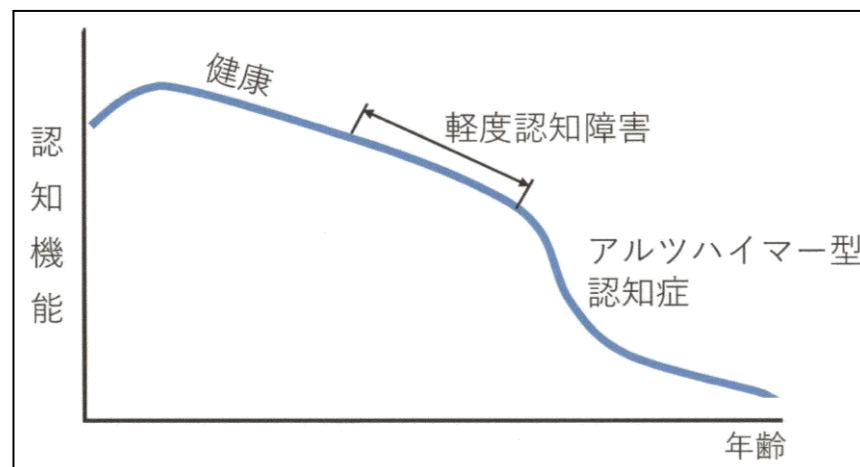
参加費用：無料

参加人数：80名(先着順)※人数になり次第、締め切ります

お問合せ先：医療法人社団健翔会 堀口医院

軽度認知障害スクリーニングプラス検査のご案内

認知症(アルツハイマー型)を発症しますと、治療薬はあ
っても、事実上治すことは困難です。加齢に伴う生理的な
認知機能低下と認知症(アルツハイマー型)との間には、
「軽度認知障害」をはさみます。もし、この段階で適切な
対策を講じれば、認知症(アルツハイマー型)への移行を
くい止めることも可能です。まず検査を受けて下さい。



※検査方法は血液検査です。

費用は自費 29,000円(税込み)
になります。

卓上型の還元電子治療器のご案内

還元電子治療器のあて方は、本来は横になって仰向けで行います。
しかし毎日多忙のため、ゆっくり横になって治療できない場合があります。
そんなとき、卓上型の治療器は椅子に座って手首に治療極板をあてて行います。
5分程度でもかなりの電子供給が可能です。
当院のスタッフも全員実践しています。
最期まで健康で過ごすために、毎日実践しましょう。

